第 | 4回 四国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会研究大会令和7年度 徳島県小学校生活科・総合的な学習教育研究大会

徳島大会のご案内

(第二次案内)

大会主題

自ら学びを創り出す子供の育成

<mark>~「これ、やってみたい!」をつなぎ「できた!」「よかった!」を実感するために~</mark>

〇期 日

令和7年11月21日(金)

○場 所

海陽町立海南小学校

海部郡海陽町四方原字旭町50 TEL:0884-73-0036



海陽町公式キャラクター 〈ふるるん〉

今年度、徳島県では、生活部会と総合部会を統合して、生活・総合部会が誕生しました。この記念すべき年に、第14回四国大会を開催できますことは、本部会にとって大きな喜びです。 ウェルビーイングの向上が教育の重要な柱とされる現代において、本部会は、研究主題を「自ら学びを創り出す子供の育成」とし、子供たちが自ら課題を見つけ、主体的に学びを深める探究的な学びの充実を目指しています。子供の「これ、やってみたい!」という思いを起点に、「できた!」「よかった!」という学びの喜びと成長の実感を大切にする実践が進められています。

本大会が、四国各県の知見と実践を共有し、子供たちの未来を拓く学びの創造につながることを願っております。徳島大会へのご参加と、実りある交流を心より期待しております。

○主 催

四国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会徳島県小学校教育研究会

〇共 催

德島県市町村教育委員会連合会 公益社団法人徳島県教育会 公益社団法人日本教育公務員弘済会徳島支部

徳島県小学校校長会 一般財団法人徳島県教職員互助組合 海陽町教育委員会

○後 援

德島県教育委員会 愛媛県教育委員会 高知県教育委員会 香川県教育委員会

〇日 程

9:00 9:20 9:30 9:50 10:05 10:50 11:05 11:45 12:30 13:55 14:05 15:35 15:50													
受付	開会行事	基調提案	移動	公 開 授 業	移動	授業研究会	昼食	課題別分科会	移動	泰山裕先生		閉会行事	

○講 演

〈講師〉

中京大学 教養教育研究院 教授 泰山 裕 先生〈演題〉

「これから求められる探究的な学び」

○授業提案

学年	単 元 名	授業者	助言者	司会者
ı	ともだちのこと おしえたいな	重村 彩子 片岡 美輪	徳島県教育委員会 係長兼指導主事 得野 真琴	上八万小学校 教諭 櫻井 由美子
2	わたしのまち海南の「たから」 ~それ行け! イブキっ子たんけんたい~	石井 里奈 大久保 雅美	徳島県教育委員会 学校訪問指導員 森田 範子	渋野小学校 教頭 寺田 美喜
3	つくろう、伝えよう、 わたしたちの町、海南	溝内 恒河 谷 百合子	富田小学校 指導教諭 日浦 有紀子	鳴門教育大学 附属小学校 教諭 大草 晴香
4	海南の自然を守る·伝える 〜We are Nature ナビゲーター〜	堀江 千晴 福島 青空	上勝小学校 校長 亦川 隆雄	池田小学校 教諭 藤川 慎也
5	食の博覧会「海南博」 〜パビリオン直会を 成功させよう〜	元木 理恵 松岡 功	川島小学校 教頭 原田 敏也	大野小学校 教諭 谷 篤彦
6	つなげ! わたしの命 わたしたちのふるさと そして未来へ	福岡 誠子 重田 喜美	徳島県教育委員会 指導主事 元木 覚	里浦小学校 教頭 武知 将人

○課題別分科会

研	究課題		発	表者		助	言者	司	会 者
第	カリキュラム・マネジメント	総合		徳島市 論田小 松浦 沙	学校	徳島県教頭	つるぎ町立 半田小学校 荒岡 清秀	徳島県 教頭	徳島市 城東小学校 冨永由美子
		生活		属高松。		香川県教頭	土庄町立 豊島小学校 兒島洋一朗		高松市立 礼南小学校 黒川 幸宣
第 2	気付きの質を 高める 学習活動	生活	坂	鳴門市 强江北/ 寺本	小学校	徳島県校長	徳島市 一宮小学校 秦 啓子		鳴門市立 江北小学校 森 友子
第2	探究的な 学習活動	総合		宇和島 遊子小 西原		愛媛県 校長	松山市立 道後小学校 佐藤 郁子	愛媛大学 教諭	教育学部 附属小学校 吉岡 舞
第3	指導と評価	生活		吉野川 山瀬小 林 沙		德島県 北 校長	北島町立 2島北小学校 渡部 明美	徳島県 飯尾 教頭	吉野川市立 敷地小学校 野田 雅宏
	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	総合		南国市 長岡小 参鍋		高知県校長	南国市立 長岡小学校 彼末 健一	高知県教諭	南国市立 大篠小学校 楠本 穂高

○会場校紹介

研究主題

郷土を愛し 自ら学びを 深めつなげる 子供の育成 ~ふるさと海南の「ひと・もの・こと」との豊かなかかわりを通して~

海陽町は徳島県の最南端に位置し、青い海と白い砂浜が広がっています。古くから海部川などの豊富な水資源に恵まれ、温暖多雨な気候を生かして、キュウリを筆頭に農業が盛んに行われています。また沖合では、大敷網が設置され、ブリやカツオな

ど四季折々の魚が捕れます。線路と道路の両方を走ることができる、DMV(デュアル・モード・ビークル)が走る、『世界初』の町として、観光にも力を入れ、最近では「新たな古墳群が発見された」ことでも注目されています。

このような環境を生かし、本校では、地域とのつながりを大切にした教育を行っています。ふるさと海南の「ひと・もの・こと」との豊かな関わりを通して「郷土を愛し 自ら学びを 深めつなげる 子供の育成」をテーマに掲げ、研究を進めています。



○学校案内図



○その他

- ①駐車場について
 - ・第1~3駐車場をご利用ください。
 - ・第3駐車場については、海南文化村から海南小学校まで、バスでピストン輸送をします。
 - ・駐車スペースが狭いので、乗り合わせてお越しください。
- ②上履き・昼食・飲み物は、ご持参ください。
- ③写真・ビデオ撮影は、プライバシーの観点からご遠慮ください。

○申し込み方法

- ※下のQRコードから申し込みをお願いします。
- ※同じ所属先から複数人参加の場合も、お一人ずつの申し込みをお願いします。
- ※資料代・・・I,000円(徳島県小学校教育研究会会員以外の方) 当日、受付で現金にてお支払いください。

申し込み締め切り 9月26日(金)



お問い合わせ(徳島大会実行委員会事務局)

藍住町立藍住東小学校 矢野 彩

〒771-1272 板野郡藍住町勝瑞字成長155-1

TEL:088-641-2222 FAX:088-641-2057

Mail:yano_aya_l@g.tokushima-ec.ed.jp